歌が生まれる

校歌制作レポート　第13回

イラスト：山崎奈緒

こんな歌になりました

さてさて、とりあえずこんな形で第一稿がまとまりました。試奏の動画 (Viola & Piano) を撮りましたので、ぜひご覧になってみてください。

学びの海に　遊ぶ命は
木々の梢に　雲の行方に
まだ見ぬ明日を　問う

響き合う夢は　若き季節の
笑い　躓き　迷う日の　道標

止まらぬ歩み　つながる思いは
時を超え　出会う
それはいつも
初めての　今

町田育弥 Profile

桐朋学園大学で作曲を専攻。中・高等学校教諭、音楽大学講師など常に教育に携わりつつ、作・編曲・演奏活動を展開。作品は、歌曲、室内楽、吹奏楽、管弦楽、劇音楽など多岐におよぶ。著書にピアノ教本「みみをすます」全４巻、歌曲集「あったかい」などがある。2014～2020年まで本学幼児教育学科教授を務めた。現在、本学客員教授、認定こども園恵泉幼稚園（さいたま市）園長。

♫♫♫　９月６日　レポート

最終Ｃ部分について（補足）

　前回レポートの最後が尻切れトンボになってしまったので、ちょっと補足しておきます。歌の全容はこのようになったのですが…赤星と青星の部分が前回お見せした状態と少し変わっています。

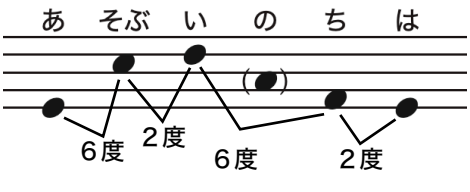
新校歌初稿

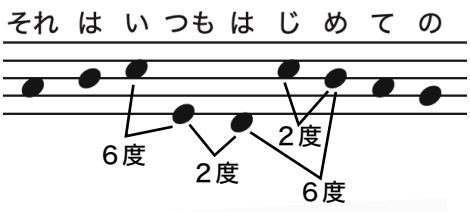
★ 16分音符１個に「ない」を入れるのはせせこましいので「ぬ」に変更。

★「であう」の「で」を目立たせたいので、その前にドの音に到達しないように、また、孤をゆったりと描きたいので「こえて」の「て」を削除してリズム変更。

・・・でした。

　最終フレーズを「伸びやかに羽ばたくような跳躍音程で包み」と考えたのは、①と②の音程関係を呼応させて「遊ぶ命＝いつも更新されて新しく」というメッセージを完結させたかったことと、公募語にあった「羽ばたく・高く跳べ・飛翔・大きな翼・空へ向かう」などのイメージを生かして、「絵」としても遊んでみたかったからです。





ではまた次回。